

資料－5

第34回 荒川太郎右衛門地区自然再生協議会
2013年7月29日

管理目標ワーキングの活動

【活動報告】

- 第33回協議会(平成25年3月3日)以降、生態系モニタリング専門委員会と合同で会議を1回開催し、ハンノキ育成試験地②の草刈りを実施しました。(あわせて、秋イベント用のハンノキ移植元の草刈りを実施しました)
- 第11回(6月12日)の会議では、「工事立ち会い者」、「今後の自然再生整備」、「維持管理内容と体制」を検討しました。
 - ①工事立ち会い者を、堂本委員、菅間委員に選出しました。
 - ②バッファゾーンに位置づけられている旧流路Bの最終的な方針については、今年度の植物調査の結果を踏まえ検討しています。(参考P4参照)
 - ③中池河畔林については、管理について検討していきます。(参考P5~6参照)
 - ④下池河畔林については、移植先の盤下げも視野に入れたハンノキの移植計画について検討していきます。(参考P7~11参照)
 - ⑤「維持管理内容と体制」については企業協力や助成金活用など、継続的な活動資金確保に向けた検討を行うための組織の立ち上げの必要性について、広報WGとも連携して検討していく予定です。(参考P12~14参照)

【合同会議の開催】 上尾市文化センター
第25回 平成25年6月12日 9:30~11:30

会議



委員によるハンノキ育成試験地②の草刈り
平成25年6月7日 9:30~11:30



参考

【目次】

- | | | |
|---------------------------|-------|-----|
| 1. 平成25年度の自然再生整備について ～上池～ | | P4 |
| 2. 河畔林の整備について | | P5 |
| 3. 管理体制について | | P12 |

2. 河畔林の整備について

1) 中池

【中池河畔林の整備の検討基本方針（案）】

1. 現存する河畔林を保全（新たな基盤整備や移植は実施しない）
2. ゴミ投棄の防止や適正な利用の促進

第9回ワーキングの意見

・中池河畔林については整備の必要はないが、人が集まる場所であるため、自然再生地の対象地区であることを周知し、ゴミ投棄の防止や適正な利用を促す必要がある。

検討事項

・自然再生地であることの周知方法、利用に際しての注意事項



・中池については、維持管理のための管理用通路や、自然再生地であることを周知させる看板の設置などが具体的な整備内容として考えられます。具体的な整備内容について今年度中に結論を得たいと考えています。
看板の設置は広報WGにおいても検討が必要と考えています。

2. 河畔林の整備について

1) 中池



2. 河畔林の整備について

2) 下池

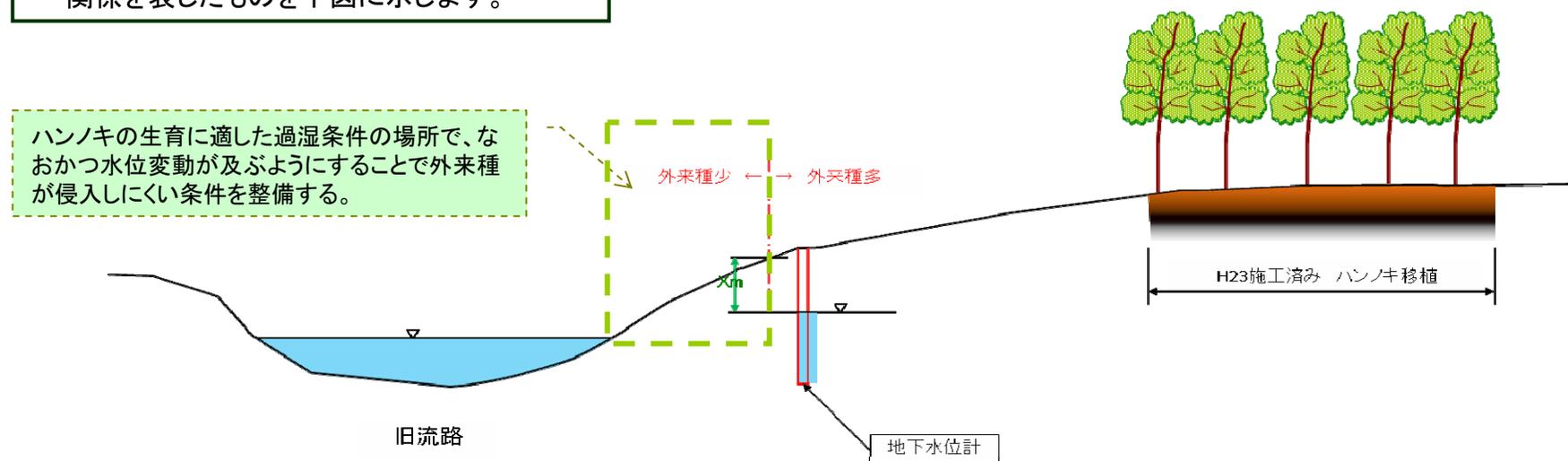
【下池河畔林（ハンノキ移植）の整備の検討基本方針（案）】

1. ハンノキの生育に適した地盤高
2. 外来種の侵入を極力防ぐことが可能な地盤高→将来の保全活動の省力化

以上の2点を基本方針として以下の調査を実施

- ① 太郎右衛門地区自然再生地の植生図の見直し
- ② ①を基に委員の方々へのヒアリングを実施
- ③ 地下水位と植生図との関連性の確認

●上記1、2を満足する地盤高と地下水位との関係を表したものを下図に示します。

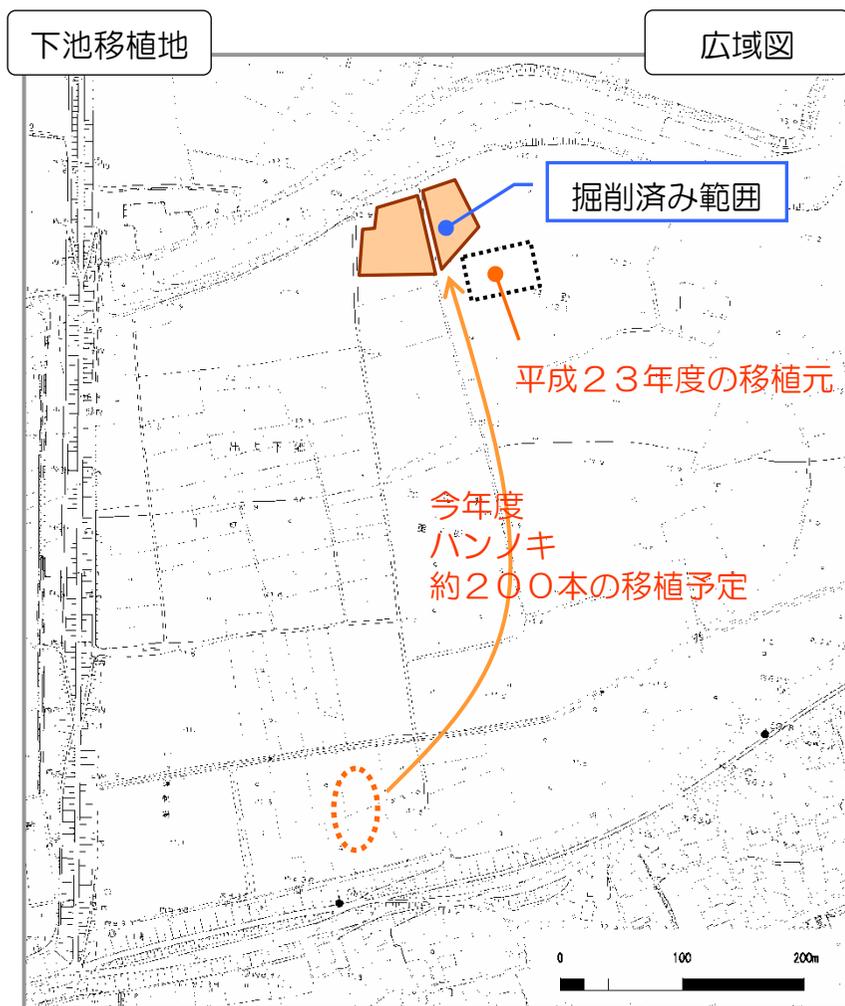


2. 河畔林の整備について

2) 下池

下池河畔林の整備
範囲について

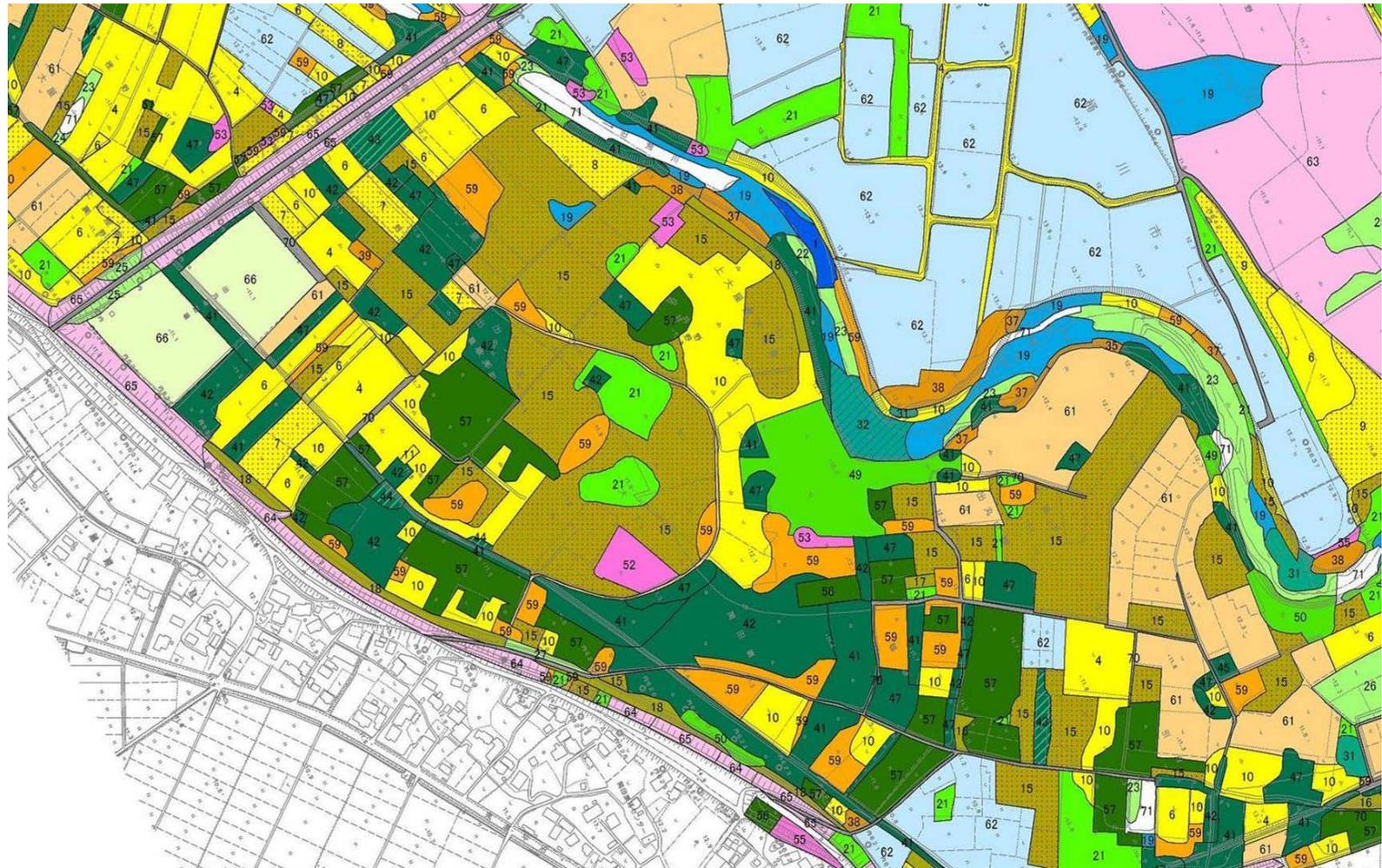
- 「池の横を掘削して湿地を作り、水際を広げて移植する」ことを基本に、範囲については案①水際のみ、案②H23掘削済みの範囲まで、案③新たに掘削範囲を広げる、等が考えられます。



2. 河畔林の整備について

2) 下池

【参考図①】H23植生図



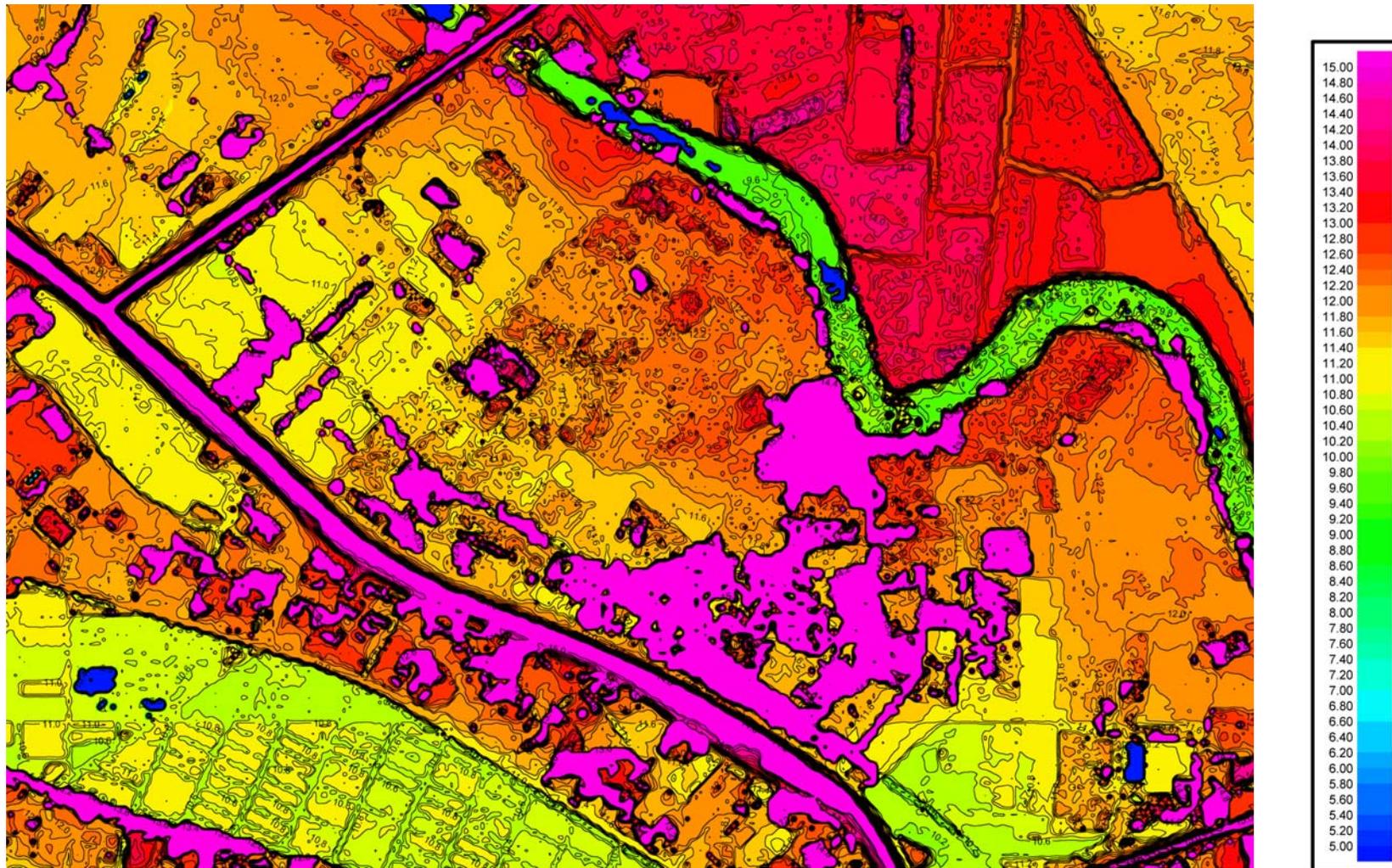
注：植生図の凡例には重要種が含まれるため、種の保護の観点から表示していません。プロジェクトで表示します。

2. 河畔林の整備について

2) 下池

【参考図②】等高線図

標高A.P.m



※国土交通省LP測量データ（5m）をもとに等高線を作図（樹木等を含む）

2. 河畔林の整備について

2) 下池

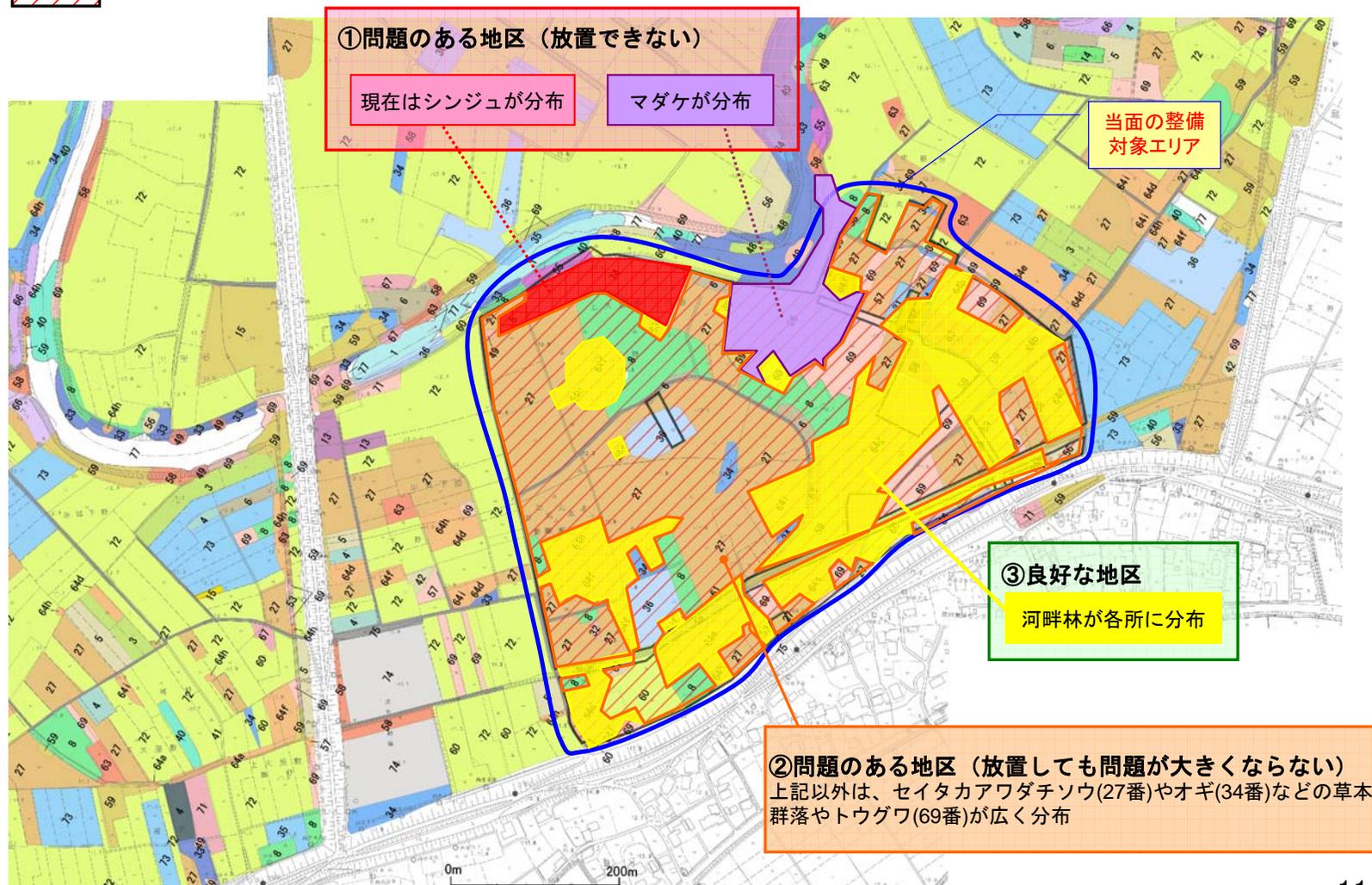
【参考図③】

第29回協議会資料より

 当面の整備対象エリア

 官地(国、市町)

下池河畔林の現状



3. 管理体制について

1) 管理体制検討に関する意見

①第33回太郎右衛門地区自然再生協議会（平成25年3月3日）では、管理目標ワーキングより「管理体制の仕組み作り」について 提案がなされ、了承されました。

【第33回議事要旨の抜粋】

●管理体制の今後の検討

- ・企業との協力や資金確保に向けた組織体制については管理目標ワーキングで検討を進め、平成25年度中も含めて近い将来に本項目に特化したワーキングを立ち上げ、いずれ専門委員会に格上げしていく方向性が管理目標ワーキングより提案され、了承された。
- ・今後の活動の中で各種助成金を活用していく方針が提案され、了承された。



【協議会に提案された平成25年度の検討事項】

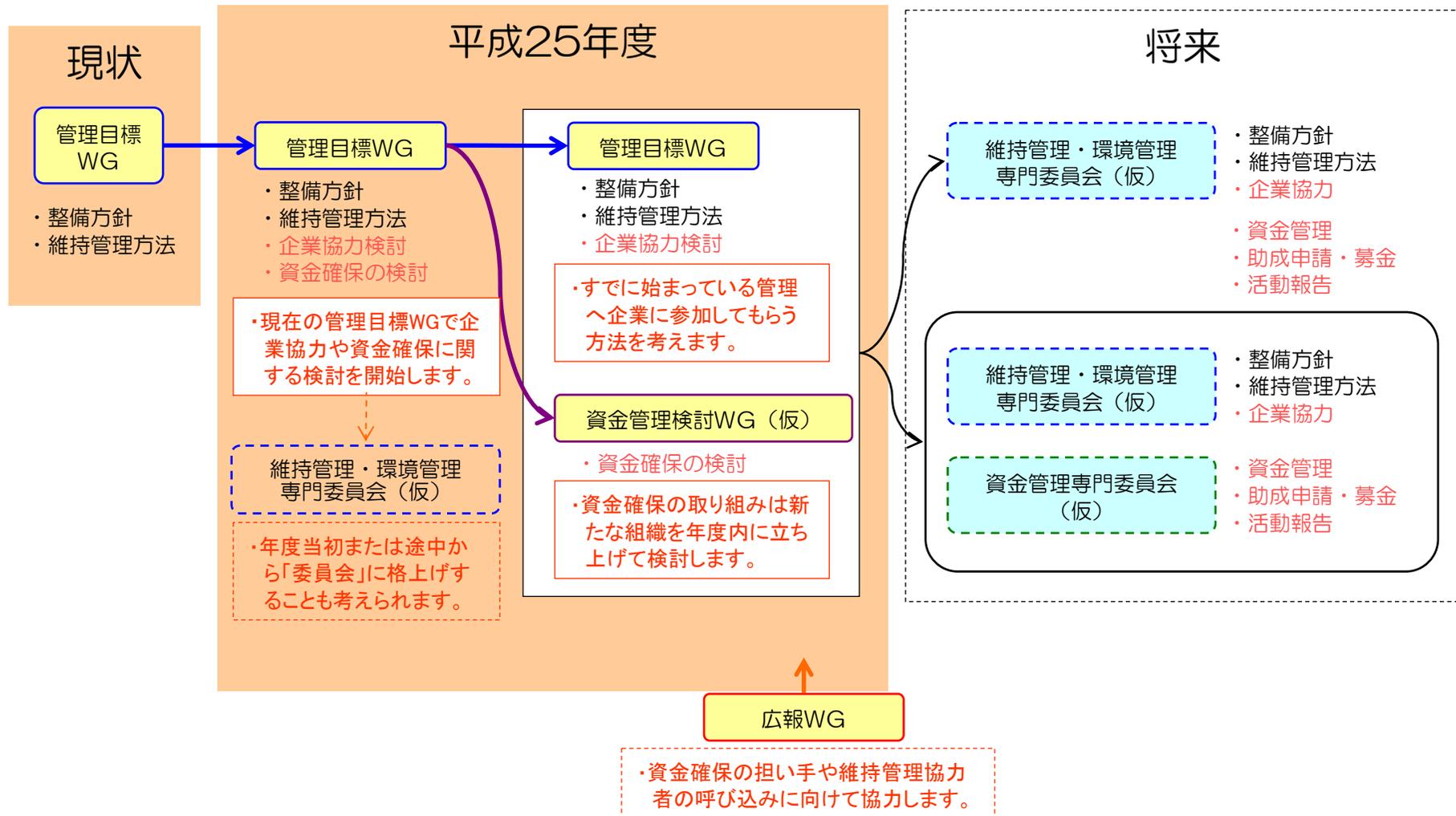
①「企業協力」および「資金確保」についての検討

②平成25年度中に「資金管理検討WG」の設立、「管理目標WG」の委員会への格上げなど新たな組織づくりについての検討

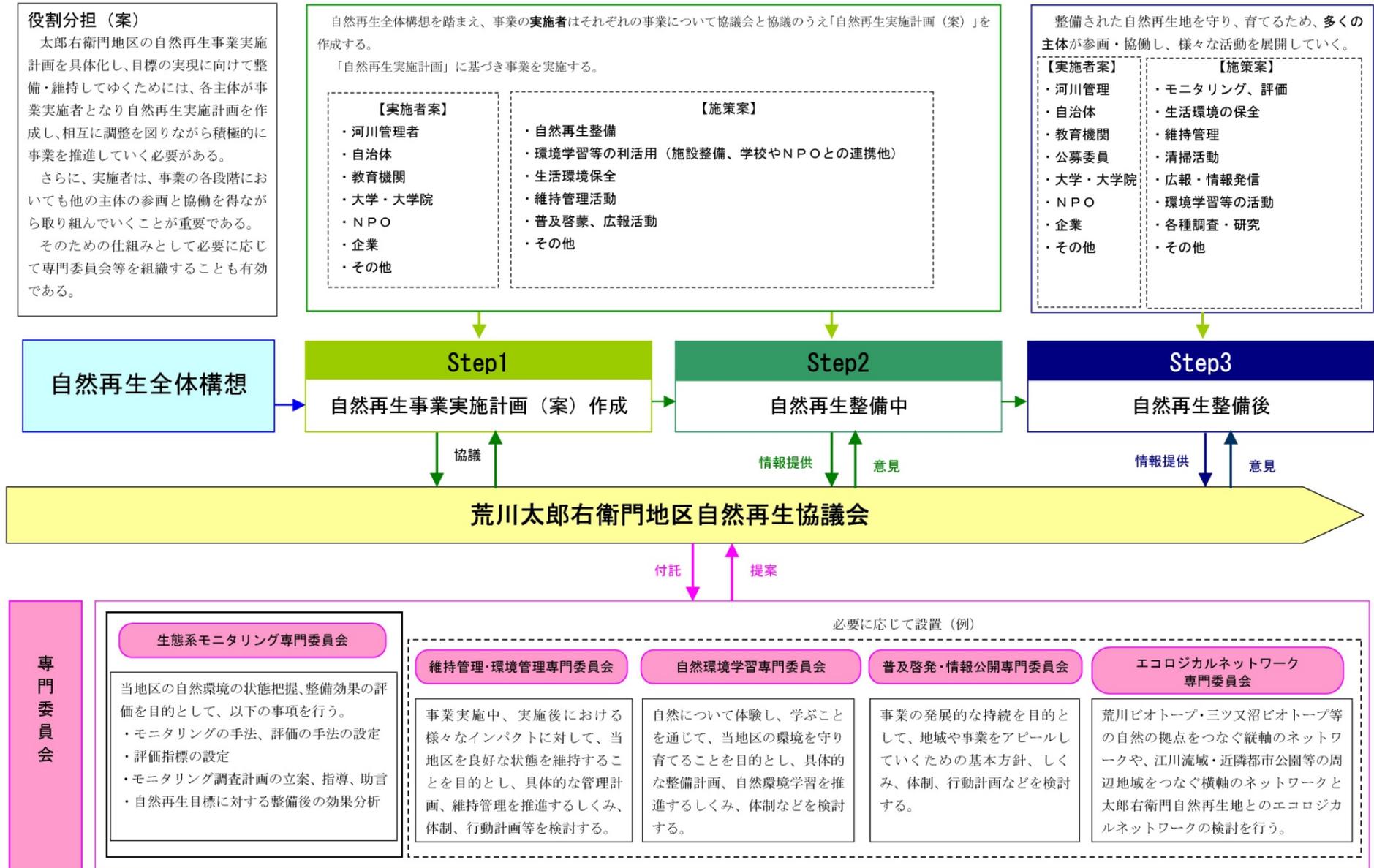
3. 管理体制について

2) 第33回協議会提案事項

●第33回協議会で、通常の河川管理でできない、自然再生の維持管理、広報、イベント等を住民、NPO、自治体、民間企業等が協力して実施する組織づくりについてワーキングを設立して検討を行うことが提案され、ワーキングの設立と検討の流れの案が提案され、了承されました。



参考：全体構想書の役割分担のイメージ



太郎右衛門地区自然再生事業の役割分担のイメージ